

令和7年度 学校評価

「学校診断調査」集計結果

1. はじめに
2. 校訓・学校教育目標
3. 学校経営の努力点とその具体策
4. 教職員及び生徒数
5. 学校診断調査質問項目
6. 学校診断調査の方法と分析
 - ①学び（学習）について
 - ②学校生活について
 - ③その他について
7. まとめ
8. 学校運営協議会から
9. 学校診断データ資料

山梨市立山梨北中学校

1. はじめに

本校は創立54周年を迎え、鶴田誠司校長の学校経営方針の下、学校教育目標達成のために取り組んできた。また、確かな学力の向上、しなやかで豊かな心の育成そして健やかな心身の育成をめざし、教職員・生徒・保護者・地域が互いに手を携え、つながりを深めながら、これまで培ってきた教育実践をさらに進化できるように努めてきた。

今年度は学園祭文化の部を山梨市民会館での開催、2学期の三者懇談の2日間の終日実施という新しい取り組みを行ってきた。学園祭の山梨市民会館での実施は、よい環境で文化の部の発表ができるという点が教職員・生徒・保護者からも好評であり、三者懇談についても時間の幅が広がったことで保護者が予定を立てやすいという利点があった。

また、学習面では、都留文科大学学生による「学びのきずな社学習支援」の活用や放課後の山北STなど学習支援を行うとともに、生徒に分かりやすい授業をするために教材教具の開発、昨年度と同様に積極的な授業でのICT機器の活用を進めてきた。

昨年度までの取り組みも大切にしながら、学校教育目標を達成するために、日々実践を積み重ねてきている。今年度の山梨北中の概要と学校診断調査の結果を報告したい。

2. 校訓・学校教育目標

校 訓 『 自 律 』

学校教育目標 『 知・徳・体の調和のとれた生徒の育成 』

めざす生徒像

- (1) 自ら考え学習する生徒 (知)
- (2) 心豊かで思いやりのある生徒 (徳)
- (3) 心身ともにたくましい生徒 (体)

3. 学校経営の努力点とその具体策

1. 新しい時代に必要となる力の育成

(1) 知識・技能・思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等を育成する

ア. 世界に通じ、社会を生き抜く力の育成

- ①「外国語教育」を充実させ、英語力の向上を図る。
 - ・英語科では、CAN-DOリストを基にした評価を行う。
 - ・検定試験(英検等)の受検を推奨する。
- ②「小中連携教育」を推進する。
 - ・全国学力・学習状況調査結果を共有して、課題改善のための取組を行う。
 - ・合同研究会を開催し、授業改善や家庭学習等の具体的な取組を連携して行う。
 - ・生徒指導の成果や課題を共有し、中1ギャップを減らす等の取組を行う。
- ③「ICT」を活用した教育を充実させ、情報活用能力を養う。
 - ・各教科の授業において、ICTを活用した授業実践を行う。
- ④「キャリア教育」の質的・量的向上を図る。
 - ・職業講話を行い、職場体験前後の指導を充実させ、職場体験を実施する。

イ. 確かな学力の育成と自立した学習者の育成

- ①子ども主体の授業への授業観の転換
 - ・授業の中で1人1台端末等を効果的に活用し、個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る。
 - ・課題解決型の探究活動やSTEAM教育等の教科横断的な学びを充実する。
- ②「家庭学習」の定着を図り、家庭との連携を行う。
 - ・「家庭学習の内容」を下校前に生徒に理解させて、学習に確実に取り組ませる。
 - ・「生活記録ノート」等を活用し、計画的な学習習慣を身につけさせ、家庭とも連携する。
 - ・端末の持ち帰りによる、授業と家庭学習の有機的な結びつき
- ③学ぶことの楽しさを味わうとともに、互いの考えや想いに共鳴し、共感できる生徒の育成。
 - ・横断的・総合的学習の充実、探求する「山梨市ECHOES学習」の導入

(2) 健やかな体と健康で豊かな心を育成する

- ①体育的行事等の特別活動や休み時間、部活動等、学校教育活動を相互に関連させ、実践し、体力の向上に努める。

- ・「健康、体力づくり一校一実践運動」、体力テスト結果に基づく授業改善を行う。
- ・基礎的運動能力の育成と、体育理論で習得した知識を各運動領域で活用する。
- ②「食」「安全」「心身の健康の保持増進」に関する指導を相互に関連させて実践する。
 - ・保健教育を、各教科や特別活動、総合などと関連させて実践する。
 - ・食に関する、実情に応じた具体的な目標を設定し、計画的に取り組む。
- 2. 豊かな心と自己実現を図る力を育成する
 - ①いじめに関する情報を共有し、いじめを許さない集団づくりを行う。
 - ・いじめ防止等の対策のための組織をつくり活用する。
 - ・いじめ防止基本方針を点検・改訂し、生徒や保護者に周知を図る。
 - ・いじめを許さない集団づくりに関する校内研修を実施する。
 - ②不登校生徒が生じない環境づくりを行う。
 - ・不登校生徒の再登校や社会的自立を果たせるよう、組織的・計画的に支援する。
 - ・不登校が生じない環境づくりに関する校内研修を実施する。
 - ③道徳的心情と実践力を高めるために、考え議論する授業を行う。
 - ・通年を通して、あらゆる活動・行事において道徳的な実践ができるように指導する。
- 3. 一人一人のニーズに応じた特別支援教育を充実
 - 教員の専門性の向上と「個別の教育支援計画」の作成・活用を図る。
 - ・障害に関する知識や配慮等について正しい理解と認識を深め、学校として組織的な対応を行うために、研修等を実施する。
 - ・「個別の教育支援計画」の作成の意義や活用方法について理解を深め、作成・活用し、切れ目のない支援を行う。
- 4. 個々の生徒の自立を目指した通級指導教室を充実する。
 - 障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するための知識、技能、態度及び習慣を育成する。
 - ・障害に関する知識や配慮等について正しい理解と認識を深め、学校として組織的な対応を行うために、研修等を実施する。
 - ・全教職員が生徒の障害の状態等について正しい理解と認識を持ち指導し、配慮していく。
- 5. インクルーシブ教育の推進
 - 共生社会の担い手づくり
- 6. 子どもたちが安全で安心して生活できる環境づくりを行う
 - ①学級経営・ホームルーム経営の充実
 - ②「学校危機管理マニュアル」の見直しを行う。
 - ・実践的な防災・防犯等の訓練を計画的に実施する。
 - ・学校事故を未然に防ぐための、「施設・設備」の安全管理を適切に行う。
 - ・登下校の「交通安全」を適切に指導し、保護者や地域との連絡・協力体制をつくる。
 - ③家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。
 - ・家庭との連携を図り、地域社会の会議・行事等で積極的な交流、協力体制を図る。
 - ・各種「たより」等を通し、積極的に学校の情報を保護者や地域に提供する。
 - ④「学校評価」を「PDCA」で行い、結果の公表と意見を回答し、説明責任を果たす。
 - ・「自己評価」の項目の精選と共通化を行い、結果は「学校たより」等で公表する。
 - ⑤学校運営協議会制度の導入と充実
 - ・よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る。

4. 教職員及び生徒数 ※育休の教員1名を除く (単位:人)

構成	教職員	生徒	保護者(家庭数)
調査対象人数	49	353	330
調査回答人数	40	322	278

5. 学校診断調査質問項目

		教職員	生徒	保護者
1	学校生活	生徒は、充実した学校生活を送っている。	学校は楽しい。	子どもは、仲の良い友達がい て、楽しく学校生活を送って いる。
2	校訓・目標	校訓、学校教育目標などを 実現しようと努力している。	自分は、校訓、学校教育目 標や生徒会スローガンを意 識して生活している。	学校は、校訓、学校教育目標 「知・徳・体の調和のとれた 生徒の育成」などを実現しよ うと努力している。
3	授業	教材研究・生徒の実態の把 握、指導方法の工夫・改善 などを通して「わかる授業」 に努めている。	授業はわかりやすい。	学校はわかりやすい授業を行 っている。
4	学習指導	学習の遅れがちな生徒に対 して、具体的な方策をもっ て、指導に取り組んでいる。	自分は、授業にしっかり取 り組んでいる。	子どもは、授業などの準備を きちんとしている。
5	評価	生徒の意欲や努力を適切・公 平に評価し、指導と評価が一 体となるように、評価を生か した指導の改善を行っている。	先生たちは、生徒のことを よく考え、自分の努力や工 夫したことを認めてくれ る。	学校は、子どもの意欲や努力を 適切・公平に評価している。
6	家庭学習	家庭学習の充実を図るため の指導を行っている。	自分から進んで家庭学習を している。	子どもは、宿題や課題などに きちんと取り組んでいる。
7	いじめ	いじめのない学級づくり・集 団づくりに取り組んでいる。	先生たちは、いじめのない 学級づくりに取り組んでい る。	学校は、いじめのない集団づ くりに取り組んでいる。
8	教育相談	生徒や保護者の意見に対し、 カウンセリングマインドをも とに指導支援を行っている。	必要があるとき、先生たち は相談にのってくれる。	学校は、保護者や子どもの相 談にのったり願いに応えよう としている。
9	友人関係	孤立している生徒がいな いように、友達関係に気を配 っている。	自分には、仲のよい友達がい て、休み時間など楽しく過 ごしている。	子どもには、仲のよい友達がい て、休み時間を楽しく過 ごしている。
10	心の教育	思いやり、生命の大切さ、そ して社会のルールなど、心の 教育を大切にしている。	自分は、思いやりの心や生 命、社会のルールを大切に しながらいじめのない学級 づくりに取り組んでいる。	学校は、思いやり、生命の大切 さ、そして社会のルールなど 心の教育を大切にしている。
11	行事	学園祭などの諸行事にお いて、生徒は自分の力を発 揮している。	学園祭などの行事には、積 極的に取り組んでいる。	学校は、学園祭や学年行事な どにおいて、子どもが力を 発揮できるように工夫して いる。
12	部活動	生徒は、部活動に意欲的に 取り組んでいる。	自分は、部活動に一生懸命 取り組んでいる。	子どもは、部活動に意欲的に 取り組んでいる。
13	奉仕 係活動	生徒は、学級の係や委員会 活動に積極的に取り組んで いる。	自分は、学級の係(清掃や給 食当番など)や委員会活動 などに熱心に取り組んで いる。	
14	環境	生徒たちの生活や学習にふ さわしい教育環境づくりに 努めている。	学校の施設・設備は充実し ている。	学校は、子どもたちの生活や 学習にふさわしい環境作り に積極的に取り組んでいる。
15	健康安全	生徒たちの健康増進や交通 安全等に適切に対応、指導 している。	健康的に学校生活を送るた めに、体力づくりに励み、 交通ルールを守って登下校 している。	学校は、健康増進や交通安全 対策などに適切に対応して いる。

16	開かれた学校	家庭訪問・学年懇談会・三者懇談は、保護者と教職員の情報交換の機会となるようにしている。	自分から進んで地域の行事に参加している。	親として、子どもの学校生活に関心を持ちながら子どもと会話するように努めている。
17	開かれた学校	授業参観の実施、学校だより学年だよりの発行など、開かれた学校づくりの取り組みが進んでいる。		家庭訪問や懇談会・授業参観など、学校での生活や学習の様子を把握する機会は十分ある。
18	開かれた学校			積極的に強歩大会などの学校行事に参加している。

6. 学校診断調査の方法

- (1) 調査期間 令和7年12月4日(木)～23日(火)
- (2) 調査対象 教職員・生徒・保護者
- (3) 調査方法 Google Formによる調査(記名あり)
- (4) 項目数 教職員：17項目 生徒：16項目 保護者：17項目
- (5) 分析・全体的な傾向と特徴

①学び(学習)について

学び(学習)について肯定的な回答した合計の割合を示している。(単位：%)

質問項目		今年度	昨年度
生徒	3 授業はわかりやすい。	95.3	93.0
保護者	3 学校はわかりやすい授業を行っている。	90.6	75.5
教職員	3 教材研究・生徒の実態把握、指導方法の工夫・改善などを通して「わかる授業」に努めている。	100	100

生徒	4 自分は、授業にしっかり取り組んでいる。	95.6	95.1
保護者	4 子どもは、授業などの準備をきちんとしている。	78.0	85.0
教職員	4 学習の遅れがちな生徒に対して、具体的な方策をもって、指導に取り組んでいる。	94.8	97.2

生徒	5 先生たちは、生徒のことをよく考え、自分の努力や工夫したことを認めてくれる。	98.1	95.7
保護者	5 学校は、子どもの意欲や努力を適切・公平に評価している。	93.8	83.6
教職員	5 生徒の意欲や努力を適切・公平に評価し、指導と評価が一体となるように、評価を生かした指導の改善を行っている。	97.4	97.2

生徒	6 自分から進んで家庭学習をしている。	74.2	72.1
保護者	6 子どもは、宿題や課題などにきちんと取り組んでいる。	87.7	84.5
教職員	6 家庭学習の充実を図るための指導を行っている。	92.5	88.8

生徒質問項目「3 授業はわかりやすい」には**95.3%**、「4 自分は授業にしっかり取り組んでいる」には**95.6%**の肯定的な回答があった。その理由として、落ち着いた環境での授業、分からないところを質問できるクラスの雰囲気などやしっかりとした授業規律が確立しているためだと考える。また、教職員質問項目「3 教材研究・生徒の実態把握、指導方法の工夫・改善などを通して「わかる授業」に努めている」の回答は**100%**であり、授業担当者が十分な教材研究を行い、授業が工夫されていることもその回答につながっていると考え。一人一台端末や大型モニターなどの機器を使うことで、生徒に分かりやすく学習内容が伝わり、個に応じた学習に取り組んでいることが分かる。

昨年度の課題であった生徒質問項目「6 自分から進んで家庭学習をしている」、保護者質問項目「6 子どもは、宿題や課題などにきちんと取り組んでいる」は昨年度より、2～3ポイント上がっている。学校で取り組んでいる「自主学習ノート」や「ミライシード」などのデジタルドリルなどを活用する

ことで、家庭で個別に対応した学習ができることで上がってきているのではと考える。

評価に関する生徒質問項目「5 先生たちは、生徒のことをよく考え、自分の努力や工夫したことを認めてくれる」、保護者質問項目「5 学校は、子どもの意欲や努力を適切・公平に評価している」では、それぞれ**98.1%**、**93.8%**と、生徒は約3ポイント、保護者は約10ポイントと昨年度より上がっている。5月でのPTA学年部会での評価の方法についての説明や三者懇談における説明によって、生徒、保護者とも適切な評価であると理解している様子が見えてくる。

今後の取り組みとして力を入れていきたいのは、教職員質問項目「4 学習の遅れがちな生徒に対して、具体的な方策をもって、指導に取り組んでいる」である。昨年度と比較して3ポイント程度下がっている。定期テスト前学習会（山北ST）の方法の工夫や授業での復習の時間の確保、充実した家庭学習にどうつなげていくのかを今後の課題としていきたい。

②学校生活について

学校生活について肯定的な回答した合計の割合を示している。（単位：％）

*保護者質問項目9は、今年度新出

質問項目		今年度	昨年度
生徒	1 学校は楽しい。	94.1	92.6
保護者	1 子どもは、仲の良い友達がいる、楽しく学校生活を送っている。	92.0	90.4
教職員	1 生徒は充実した学校生活を送っている。	100	100
生徒	7 先生たちは、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。	98.1	97.6
保護者	7 学校は、いじめのない集団づくりに取り組んでいる。	92.1	74.5
教職員	7 いじめのない学級づくり・集団づくりに取り組んでいる。	100	100
生徒	8 必要があるとき、先生たちは相談にのってくれる。	98.7	96.1
保護者	8 学校は、保護者や子どもの相談にのったり願いに応えようとしている。	91.0	88.6
教職員	8 生徒や保護者の意見に対し、カウンセリングマインドをもとに指導支援を行っている。	97.4	100
生徒	9 自分には、仲のよい友達がいる、休み時間など楽しく過ごしている。	96.6	97.5
保護者	9 子どもには、仲のよい友達がいる、休み時間を楽しく過ごしている。	91.7	
教職員	9 孤立している生徒がいないように、友達関係に気を配っている。	100	100
生徒	10 自分は、思いやりの心や生命、社会のルールを大切にしながらいじめのない学級づくりに取り組んでいる。	98.4	97.9
保護者	10 学校は、思いやり、生命の大切さ、そして社会のルールなど心の教育を大切にしている。	94.2	83.2
教職員	10 思いやり、生命の大切さ、そして社会のルールなど、心の教育を大切にしている。	100	100
生徒	11 学園祭などの行事には、積極的に取り組んでいる。	97.2	98.4
保護者	11 学校は、学園祭や学年行事などにおいて、子どもが力を発揮できるように工夫している。	97.5	88.6
教職員	11 学園祭などの諸行事において、生徒は自分の力を発揮している。	100	100

生徒	1 2	自分は、部活動に一生懸命取り組んでいる。	96.3	95.1
保護者	1 2	子どもは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	90.6	89.1
教職員	1 2	生徒は、部活動に意欲的に取り組んでいる。	100	97.3

生徒	1 3	自分は、学級の係(清掃や給食当番など)や委員会活動などに熱心に取り組んでいる。	95.7	97.3
教職員	1 3	生徒は、学級の係や委員会活動に積極的に取り組んでいる。	100	100

学校が生徒たちにとって安全で安心な環境になる取り組みの成果が感じられる。生徒質問項目「1 学校は楽しい」、保護者質問項目「1 子どもは、仲の良い友達がいる、楽しく学校生活を送っている」の「学校生活の楽しさ・充実度」に関する質問には、それぞれ**94.1%**、**92.0%**である。しかし、一方で、「1 学校は楽しい」に対して「まったく思わない」の回答をした生徒が**0.6%**（別紙資料参照）がいる。また、「9 自分には仲の良い友達がいる、休み時間などを楽しくすごしている」の質問項目に対し、**96.6%**が肯定的な回答であるのに対し、「あまり楽しく過ごせていない」の回答をしている生徒が**0.6%**（別紙参照）いる。これらの意見を生徒の学校生活への悩み、SOSとして受けとめ、この結果を教職員で共有し、早期に対応することで生徒が安心する学校生活を送ることができるようにしていきたい。

学校が安全で安心な環境であるためには、教育相談体制の充実も大切な要素である。相談体制に関する生徒質問項目「8 必要があるときに先生たちは相談にのってくれる」に対し、肯定的な回答をしたのは、**98.7%**であり、保護者の回答は**91.0%**である。この数値は、日頃から生徒に寄り添うことを大切にする教職員の姿勢による結果であると考えられる。

また、生徒質問項目「7 先生たちは、いじめのない学級づくりに取り組んでいる」**98.1%**、「10 自分は思いやりの心や生命、社会のルールを大切にしていじめのない学級づくりに取り組んでいる」に**98.4%**と肯定的な回答をしており、保護者質問項目「7 学校は、いじめのない集団づくりに取り組んでいる」や「10 学校は、思いやり、生命の大切さ、そして社会のルールなど心の教育を大切にしている」にそれぞれ**92.1%**、**94.2%**と肯定的な回答が得られた。教職員が「いじめをゆるさない」という立場に立って、学活や道徳などを中心に日常生活で取り組んでいる様子が分かる結果となった。

③その他（環境、学校教育目標、社会に開かれた学校など）について

その他について肯定的な回答した合計の割合を示している。（単位：%）

質問項目		今年度	昨年度
生徒	2 自分は、校訓、学校教育目標や生徒会スローガンを意識して生活している。	90.7	92.0
保護者	2 学校は、校訓、学校教育目標「知・徳・体の調和のとれた生徒の育成」などを実現しようと努力している。	97.5	82.3
教職員	2 校訓、学校教育目標などを実現しようと努力している。	100	100

生徒	1 4	学校の施設・設備は充実している。	93.8	88.7
保護者	1 4	学校は、子どもたちの生活や学習にふさわしい環境作りに積極的に取り組んでいる。	95.3	87.8
教職員	1 4	生徒たちの生活や学習にふさわしい教育環境づくりに努めている。	100	100

生徒	1 5	健康的に学校生活を送るために、体力づくりに励み、交通ルールを守って登下校している。	100	98.2
保護者	1 4	学校は、健康増進や交通安全対策などに適切に対応している。	96.8	88.2
教職員	1 5	生徒たちの健康増進や交通安全等に適切に対応、指導している。	100	97.2

生徒	16 自分から進んで地域の行事に参加している。	74.7	76.2
保護者	16 親として、子どもの学校生活に関心を持ちながら子どもと会話するように努めている。	96.7	98.2
保護者	17 家庭訪問や懇談会・授業参観など、学校での生活や学習の様子を把握する機会は十分ある。	95.3	93.6
教職員	16 家庭訪問・学年懇談会・三者懇談は、保護者と教職員の情報交換の機会となるようにしている	100	97.1
教職員	17 授業参観の実施、学校だより学年だよりの発行など、開かれた学校づくりの取り組みが進んでいる。	100	100
保護者	18 積極的に強歩大会などの学校行事に参加している。	92.4	67.7

全体的に昨年度と比べ、数値が上がっている項目が多いものの、生徒質問項目「16 自分から進んで地域の行事に参加している」について、**25.3%**（別紙参照）の生徒が「あまり参加していない」または「参加していない」と回答している。地域の行事に参加している生徒が昨年度より低下している。その参加率を上げていくことが今後の課題である。「社会に開かれた教育課程」の実現には、生徒が暮らす地域との連携が欠かせない。そのためにも、長期休業中などに行われる地域行事に生徒が進んで参加できるように、学校側でも体制を整えていかなくてはならないと考える。また、「社会に開かれた学校づくり」の観点からの保護者質問項目「17 家庭訪問や懇談会・授業参観など、学校での生活や学習の様子を把握する機会は十分ある」については、**95.3%**と肯定的な回答があり、「16 親として子どもの学校生活に関心を持ち、子どもと会話するように努めている」への肯定的な回答が**96.7%**と、保護者の家庭教育や学校教育への関心の高さがうかがえる。同様に保護者のPTA活動への参加も高いことが分かる。

「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、学校運営への参画の促進や連携強化を進めるため、本校の学校運営協議会は4年目を迎えた。総合的な学習の時間に1年生は「市内巡り」で地域の文化財（地域資源）を見学し、2年生は地域での「職業体験」を、3年生は「山梨市未来プロジェクト」に取り組んだ。特に3年生では、「まちづくり」について、生徒の柔軟な視点から様々なアイデアを出し合い、市長への提言につなげている。

昨年度の課題であった「登下校時における交通ルールのマナー」については、生徒質問項目「15 健康的に学校生活を送るために、体力づくりに励み、交通ルールを守って登下校している」には、**100%**の生徒が肯定的な回答をしている。毎年交通安全教室を開き、ルールの遵守について指導をしていることや登下校での立哨などの長年の指導によって、生徒全員が自分事として受け止めるようになってきていると考える。この数値に安心することなく、今後も登下校時の指導は保護者、地域とともに継続して行っていく必要がある。

7 まとめ

昨年度と比べて、全体的に肯定的な回答の数値が高くなっている。特に昨年度より大幅にあがったのは、保護者質問項目「3 学校はわかりやすい授業を行っている」の回答が**90.6%**（昨年度**75.5%**）、「7 学校は、いじめのない集団づくりに取り組んでいる」の**92.1%**（昨年度**74.5%**）である。

学習においては、一人一台端末を活用した授業があたり前になり、教職員による教材研究から授業の充実、家庭学習の充実、また、山北STや都留文科大学生による学習支援がその結果につながっていると考える。また、生活において、「いじめのない集団づくり」では、本校生徒の特徴である規範意識の高さ、生命尊重、正義感など道徳性の高さや教職員による学年・学級運営の充実が結果につながっていると考える。生徒質問項目「5 先生たちは、生徒のことをよく考え、自分の努力や工夫したことを認めてくれる」への回答が**98.1%**であったことも分かるように、生徒それぞれのよさを教職員が認め、温かく見守り、励ましてもらっているという実感があるからであろう。また、「8 必要があるとき、先生たちは相談にのってくれる」の回答**98.7%**にもあるように、生徒にとって教職員は身

近な存在であり、教職員と親和的な関係を築けていることが見て取れる。これは、教職員が生徒の話に耳を傾け、学年・学級運営、授業、部活動などを行っている結果であると考え。

今回、学校診断調査に回答できなかった生徒も30名程度おり、彼らの声を十分聞くことができなかったことが課題としてあげられる。さまざまな要因によって集団に参加することができない生徒、学校に来ることができない生徒に対して担任を中心としたチームとして協力し、取り組み体制を今まで以上に整えていくことを今後も進めていきたい。特にSCやSSWとの連携、Withなどとの連携である。また、学習においては、今まで蓄積してきた校内研を中心とした授業研究をもとに、ICT機器を活用した学習の個別化、協動的な学習を充実させ、生徒たちが収集した情報をどのようにアウトプットさせるか、それらの指導を充実させていく必要がある。

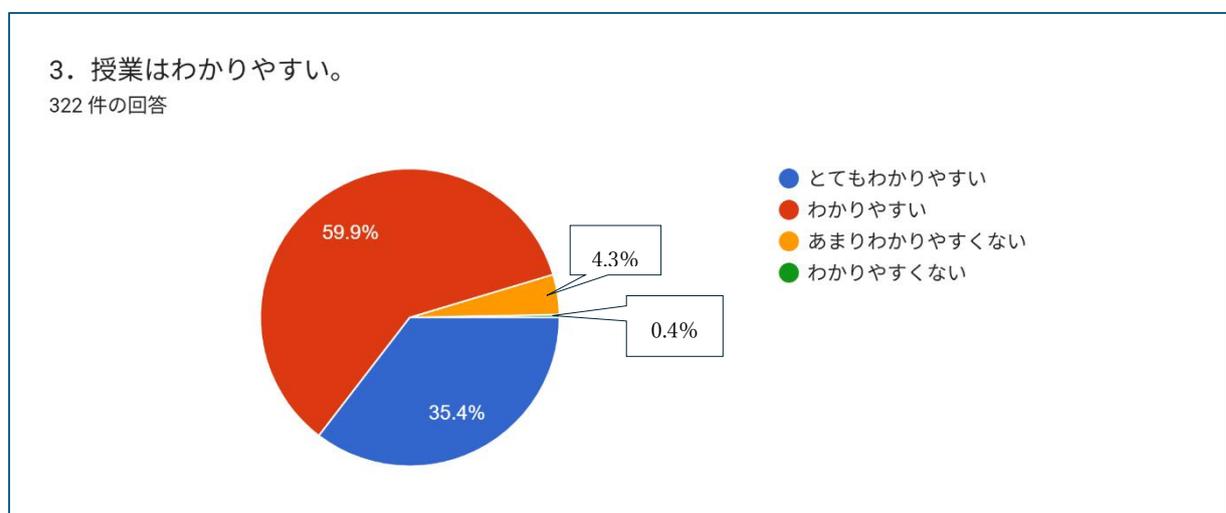
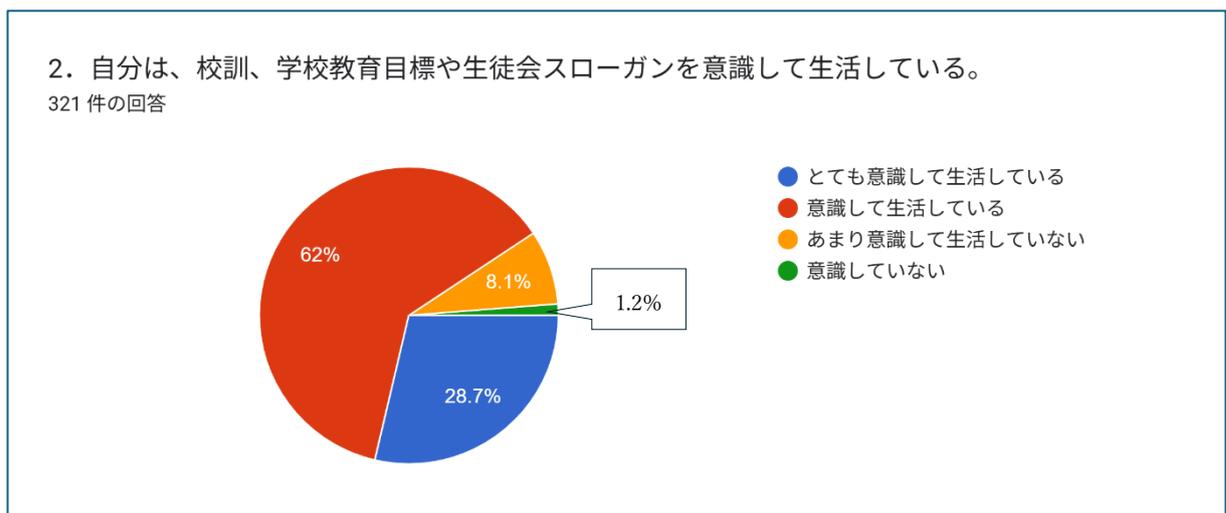
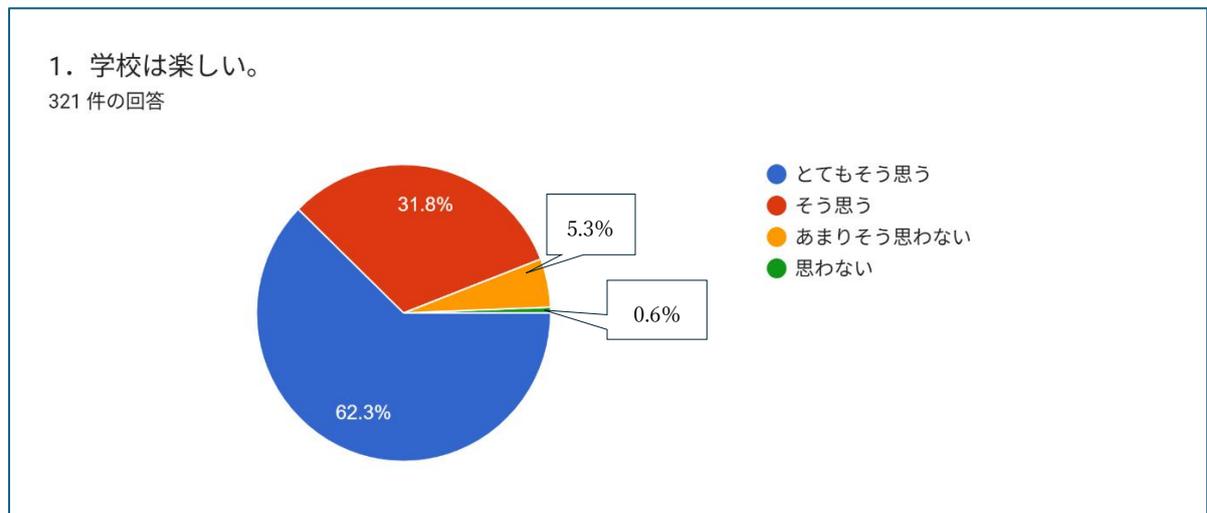
Society 5.0の時代、テクノロジーの急速な発展や新たな改革が次々に提案される変化の中、生徒たちは今後、生活していくことになる。予測しづらい社会になり、今までの考え方では通用しないことも多くおこり、それらに対応できる力を身につけさせることが課題である。学校目標にあるように『知・徳・体の調和のとれた生徒の育成』をめざし、学校長の学校経営方針に従って共通認識の下、しっかりとした指導体制を今後も作っていきたい。

8. 学校運営協議会より

- ・保護者からよい評価をいただいていることはよかった。それらをこれからも続けて言ってほしい。
- ・学校（生徒）の落ち着きが結果にでていないのではなか。
- ・自由記述の保護者の意見がさまざまあるがそれを一部の意見として考えるのではなく、その意見も大切にしていかななくてはならない。
- ・学習面については、10年前ぐらいからこの学校でも取り組んでいる「自主学ノート」だが、担任だけがチェックするのは負担が多いところもある。チームでの取り組みをこれからもして欲しい。
- ・生活面では、子どもたちにいじめに関しては意識されている。多くの生徒にとって居心地のよい学校であることはよいことである。
- ・今年度の取り組みとして、「校則の検討」などで子どもたちの意見を取り入れていることで、それがアンケートの結果としてでていると思う。
- ・「楽しく過ごせていない」と回答した生徒もいるものの、「先生たちは相談に乗ってくれる」という設問に肯定的な回答が多いこともよいと思う。
- ・山北は教師と生徒の距離が近い。それは、学校に訪問し、授業などの様子を見ていると分かる。よい関係が築けているということだと思う。
- ・学校にはさまざまなことが要求されたりするが、学校、保護者、地域が一体となって、子どもの教育に関わっていくこと。そのためには、学校で行っていることを地域にアピールしたりすることも大切。
- ・学年通信、学級通信は印刷して配布をしているが、まちこみなどを使ってペーパーレスで行うことで、業務の軽減になるのではないかと。

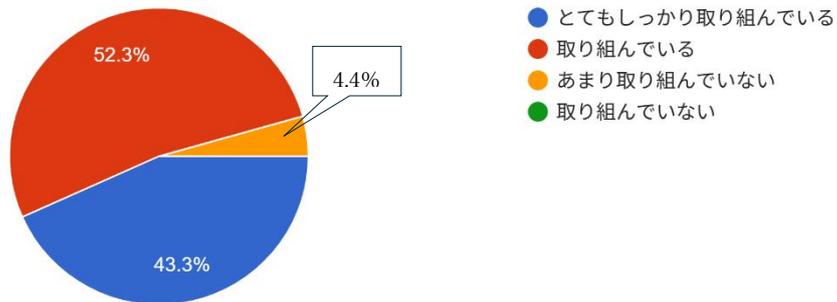
9. 学校診断結果データ

<生徒回答>



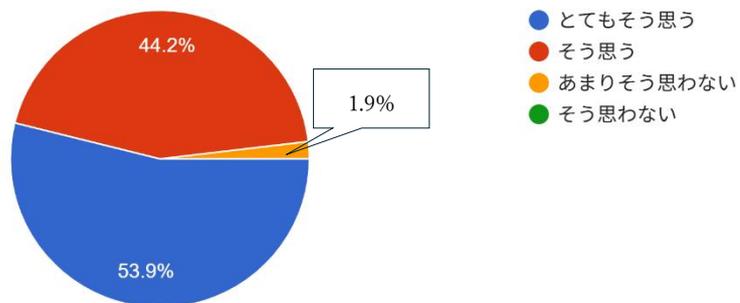
4. 自分は、授業にしっかり取り組んでいる。

321 件の回答



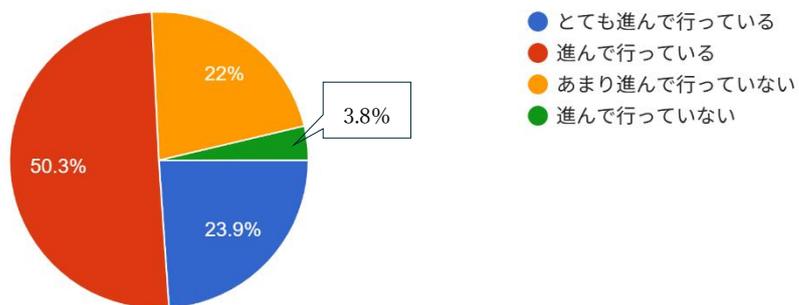
5. 先生たちは、生徒のことをよく考え、自分の努力や工夫したことを認めてくれる。

321 件の回答



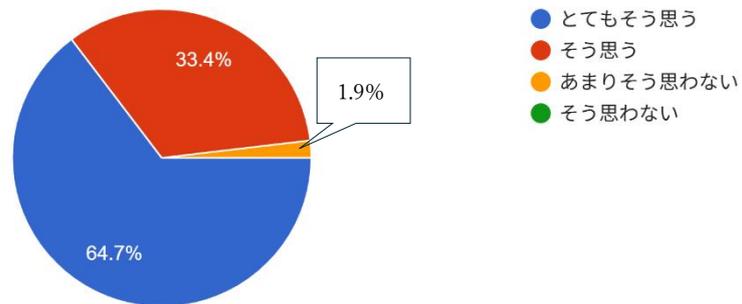
6. 自分から進んで家庭学習をしている。

322 件の回答



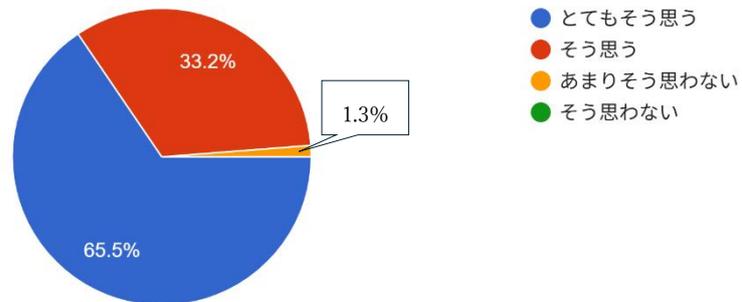
7. 先生たちは、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。

320 件の回答



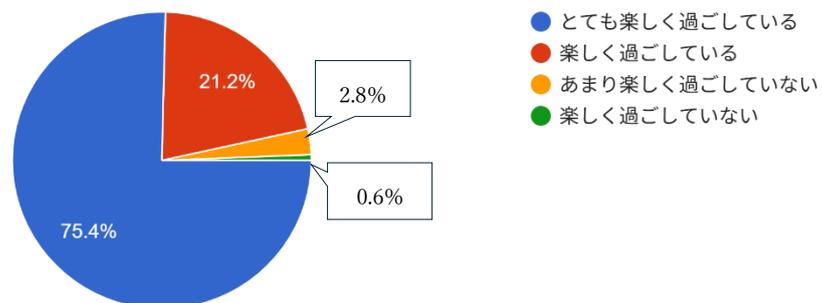
8. 必要があるとき、先生たちは相談にのってくれる。

322 件の回答

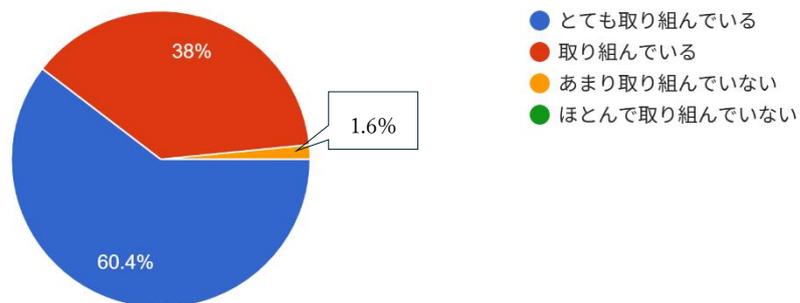


9. 自分には、仲のよい友達がいる、休み時間など楽しく過ごしている。

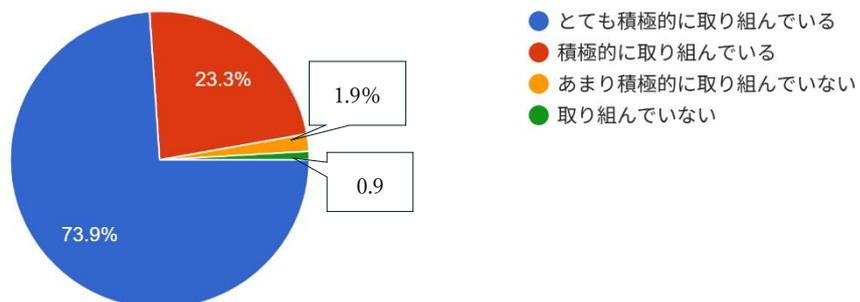
321 件の回答



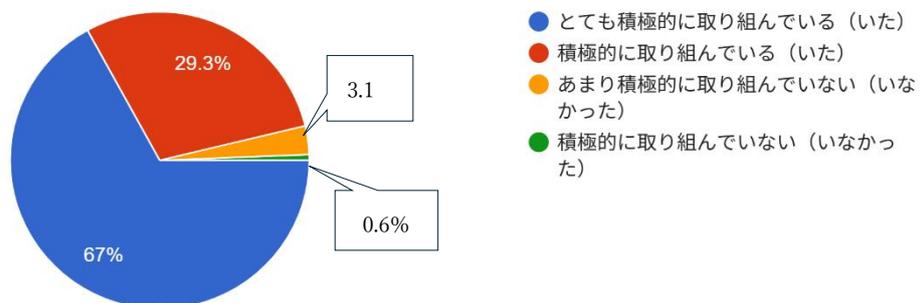
10. 自分は、思いやりの心や生命、社会のルール...がらいじめのない学級づくりに取り組んでいる。
321 件の回答



11. 学園祭などの行事には、積極的に取り組んでいる。
322 件の回答

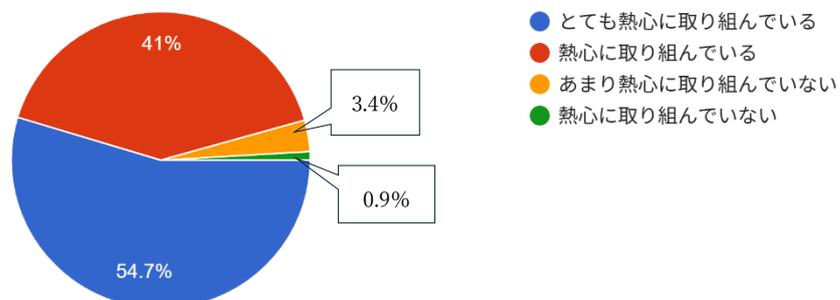


12. 自分は、部活動に一生懸命取り組んでいる。
321 件の回答



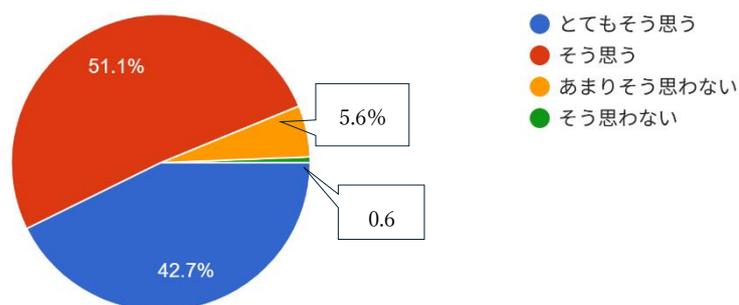
13. 自分は、学級の係(清掃や給食当番など)や委員会活動などに熱心に取り組んでいる。

322 件の回答



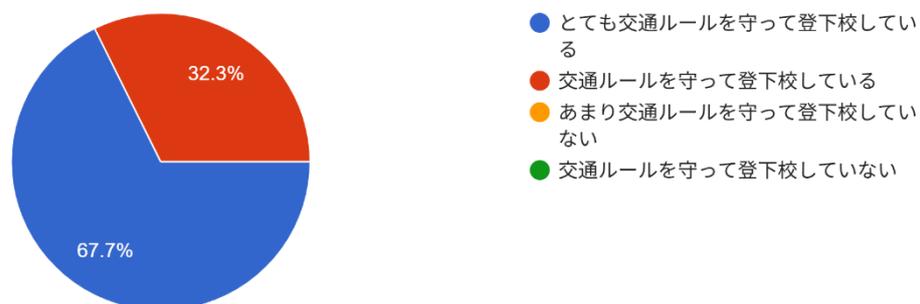
14. 学校の施設・設備は充実している。

321 件の回答



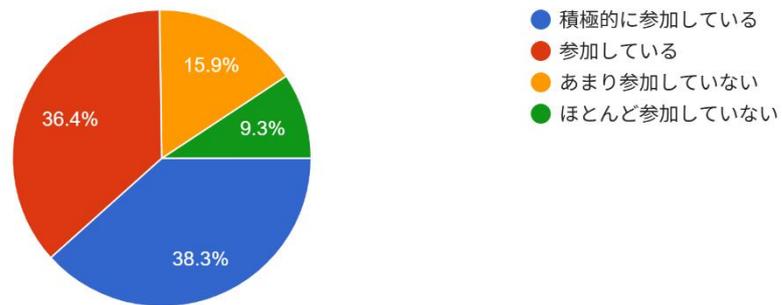
15. 健康的に学校生活を送るために、体力づくりに励み、交通ルールを守って登下校している。

322 件の回答



16. 自分から進んで地域の行事に参加している。

321 件の回答



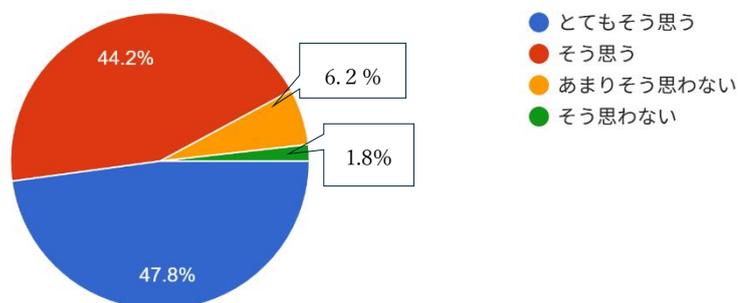
<自由記述>

- ・授業の中で聞きにくい教科があります。先生たちに質問する時間があったらいいと思う。
- ・授業中、騒がしくなっていて授業があまり進まないことがある。学習が遅れてしまうのではと心配な時がある。

<保護者回答>

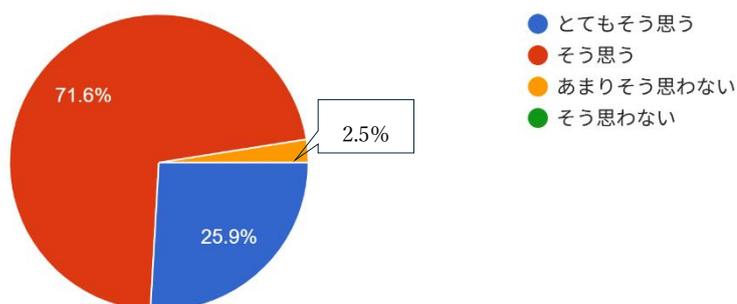
1. 子どもは、仲の良い友達がいる、楽しく学校生活を送っている。

278 件の回答



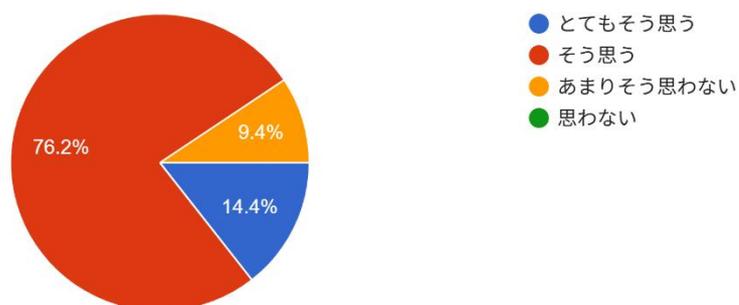
2. 学校は、校訓、学校教育目標「知・徳・体の...生徒の育成」などを実現しようと努力している。

278 件の回答



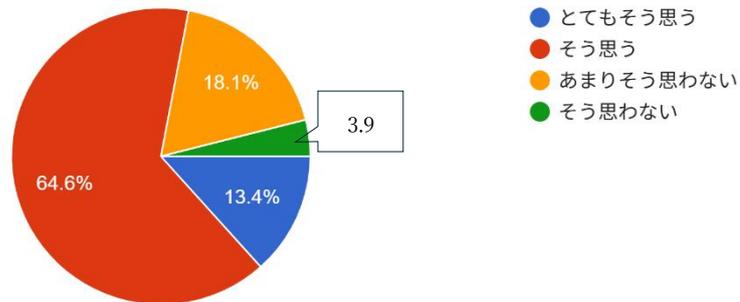
3. 学校はわかりやすい授業を行っている。

277 件の回答



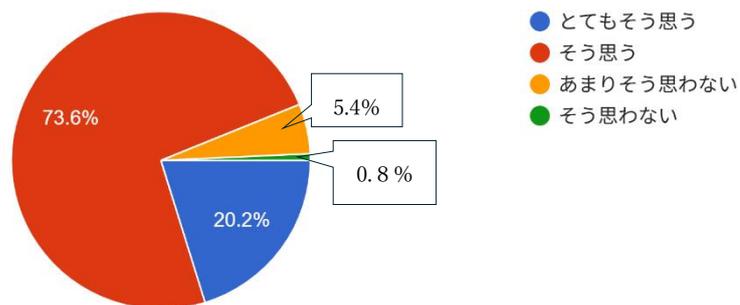
4. 子どもは、授業などの準備をきちんとしている。

277 件の回答



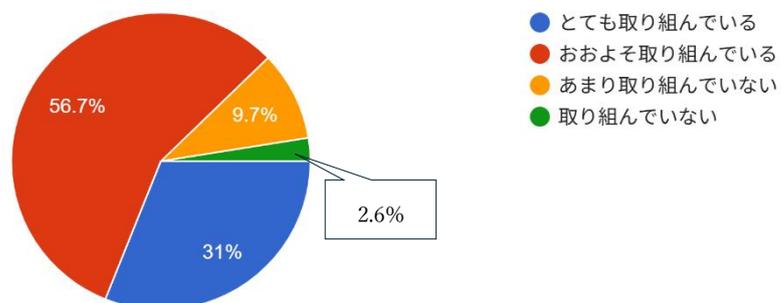
5. 学校は、子どもの意欲や努力を適切・公平に評価している。

277 件の回答



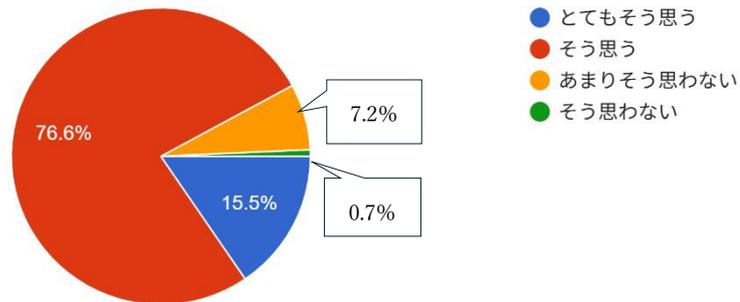
6. 子どもは、宿題や課題などにきちんと取り組んでいる。

277 件の回答



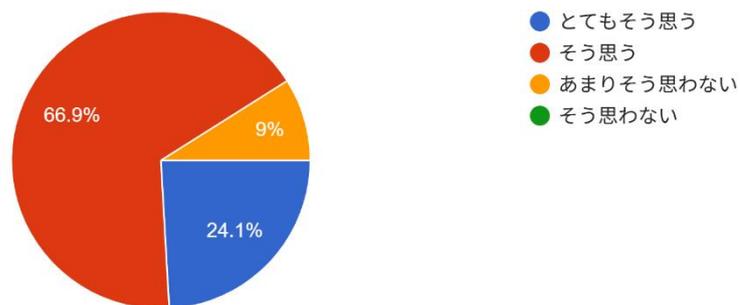
7. 学校は、いじめのない集団づくりに取り組んでいる。

278 件の回答



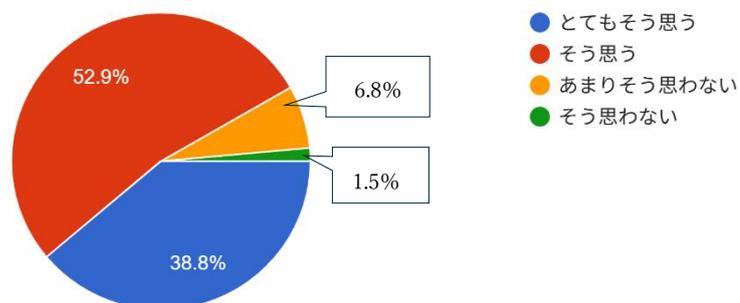
8. 学校は、保護者や子どもの相談にのったり願いに応えようとしている。

278 件の回答

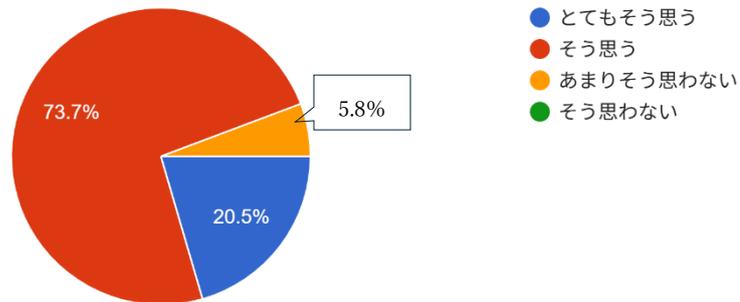


9. 子どもには、仲のよい友達がいる、休み時間を楽しく過ごしている。

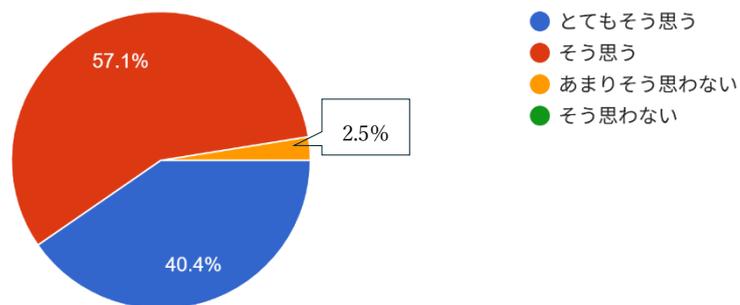
278 件の回答



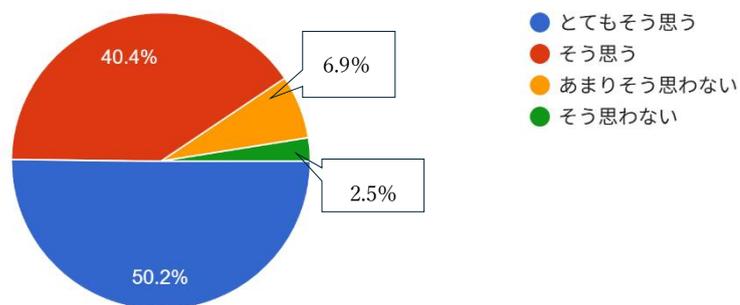
10. 学校は、思いやり、生命の大切さ、そして社会のルールなど心の教育を大切にしている。
278 件の回答



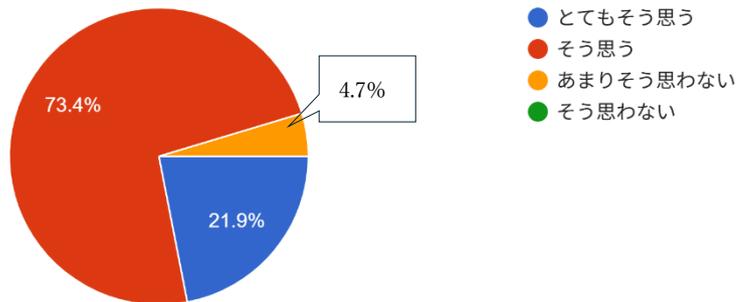
11. 学校は、学園祭や学年行事などにおいて、子どもが力を発揮できるように工夫している。
275 件の回答



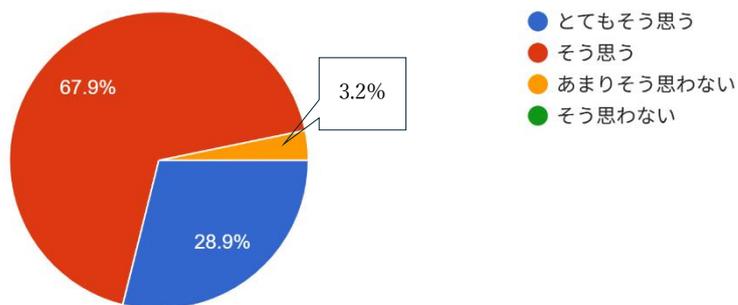
12. 子どもは、部活動に意欲的に取り組んでいる。
275 件の回答



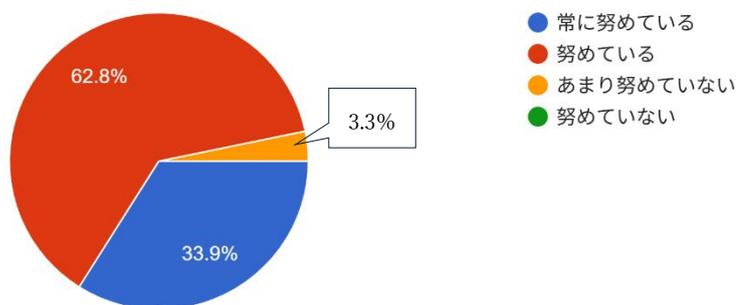
14. 学校は、子どもたちの生活や学習にふさわしい環境作りに積極的に取り組んでいる。
278 件の回答



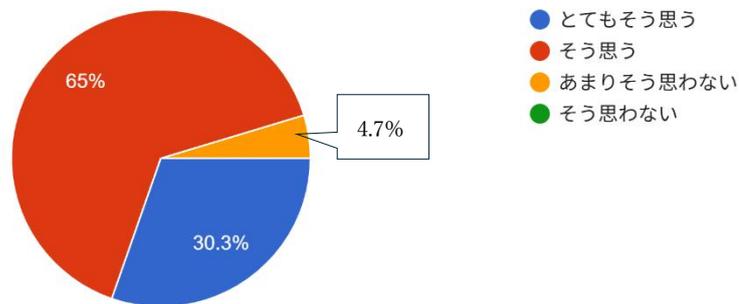
15. 学校は、健康増進や交通安全対策などに適切に対応している。
277 件の回答



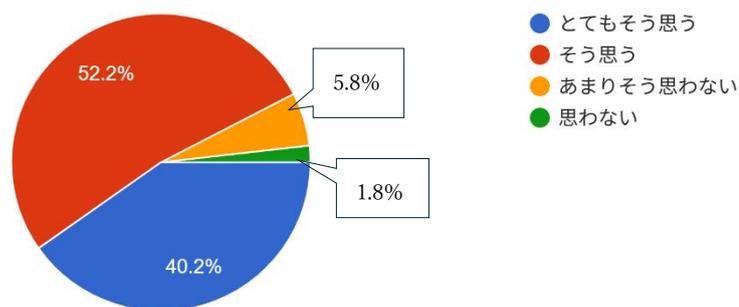
16. 親として、子どもの学校生活に関心を持ちながら子どもと会話するように努めている。
277 件の回答



17. 家庭訪問や懇談会・授業参観など、学校での生活や学習の様子を把握する機会は十分ある。
277 件の回答



18. 積極的に強歩大会など学校行事に参加している。
276 件の回答



<自由記述>

1年

- 挨拶をよく出来るととても良い子達だと思います。
- 学習障害を持っているわが子にも他の生徒にも手厚く対応していただき、ありがとうございます。
- 毎日楽しく学校へ行けています。学校関係者の皆様にとっても感謝しています。
- 先生方が熱心に指導してくださったり、親への対応をしてくださったりして、感謝しかありません。
- 子どもの状況に応じて対応していただき、ありがとうございます。学校のご理解とご協力のお陰で本人負担なく学校に通えているので良かったです。
- いつもお世話になっております。クラス便りから日々の様子がとてもよく伝わり、毎回楽しみに拝見しています。写真も頻繁に添えていただき、担任の先生の子ども達への想いが伝わってきます。
- △学校の様子がわからない中で、評価しづらい為「あまりそう思わない」を付けさせてもらいました。中学生になると学校での出来事を話したがるが…よくわからないのが現状です

△問9について、中学校の休み時間は遊ぶ時間では無いと認識していますので、楽しく過ごしているとは思えません。またアンケート全体の選択肢に「どちらともいえない」という項目があると、より回答しやすいと思いました。

△お願いになります。子ども達はわかっているようですが、保護者にも下校時間やお弁当の日などの情報が共有されると、準備がしやすく大変助かります。

△子どもの話を聞いた限りで、実際の様子や人数はわかりませんが、支援の先生が授業中にもっといてくれたら助かりそうな感じがします。

△授業参観を見ていて生徒の学力や集中力が全体的に落ちてきていると感じます。発表の場でも堂々と発表出来ずにクスクス笑って誤魔化す事が多くてこれが中学生かとビックリしました。国数英は特に学力差が出やすい教科だと思うので習熟度別クラス、意欲別クラスなども設けて学力の底上げをしてもらいたいです。

△日頃から子どもの話を聞く中では、クラス活動の様子など時折り心配に感じてしまう事があります。今後ともご指導よろしくをお願いします。

△見守りや注意喚起等についてですが、小学生の時との差が大きくて当初は驚きました。例えば雷・暑さ指数により、学校に留め置きやお迎え要請が多々ありました。まだ小学生の子供も居るので、別途マチコミでの知らせがありどうしても比較してしまいます。過保護ではないので、中学生になりその辺も大人扱いになったのかとは感じてはいますが、他の保護者の方々と話題になったので、新一年生の親御さんには方針など連絡があると安心するのではないかと思います。又、一度お迎え要請ありましたが、受け入れの流れがスムーズだとありがたいと感じました。

△三者懇談のために給食がないのは…しかも働いている保護者が多いため午後から懇談がいい気がします

△先生方も経験のない部活動の顧問をされて大変かと思いますが、子ども達は部活動を楽しみにしています。未経験で大変だと思いますが、子どもは顧問が不在の中でも自分たちで動画で練習方法を調べたりして工夫して行っています。子どものモチベーションを下げないように指導をしていただきたいと思います。

2年

○山北イノベーションは学園祭やその後の校則改定などで、子どもや保護者にとっても浸透しています。今までの考え方ややり方を見直して、良いと思うことはどんどんやってみる、そんな環境で中学校生活を送らせていただき、先生方に感謝しています。

○挨拶や秩序、規則正しさはとても素晴らしいと思います。

○いつもご丁寧な指導をありがとうございます。楽しく学校へ通うことができているありがたいです。重ねて、部活動のご指導もありがとうございます。

○いつも子どもの話に耳を傾けてくださりありがとうございます。保護者の気持ちにも寄り添いながらも、子どもの意思を何よりも尊重して対応して下さる姿勢に感謝しております。

△家でスマホをやめろと言っても、「友達からメッセージ来たもん」や「宿題聞いている」「調べ物してる」「持ち物確認してる」等と言って決めた時間も守らず手放さないの、言い訳出来

ない環境でデジタルデトックス出来るように、学校でキャンプ等して欲しいです。

△中学生生活はちょうど思春期にもあたり大変難しい時期だと思います。厳しく、たくましく、という教育はとても伝わりますが、生徒たちの力をもう少し発揮できるような機会があれば良いと思います。指示で動くことが多いような感じがしています。子ども達発信が多くなるよう、ご指導よろしくをお願いします。

△北中の学校運営に関しては、先生方の頑張りが見え日頃の子供達への関わりもありがたく思っています。ですが、その子個人個人で特性等あり把握しているなら大事な時にはピンポイントで良いと思うのでその子に応じて対応して頂きたいです。

△水泳の授業で見学する際に、思春期の女子に対してもう少し配慮していただきと思います。

3年

○信頼できる担任の先生のおかげで、安心して通っております。

○先日の授業参観は山梨市の事についての参観でした。保護者参加型でとても楽しく参観が出来ました。

△時々、先生の言っている言葉の意図がわからない時があります。内容を分かっている前提で話してくれますが、どこまでわかっているかを確認してもらえると助かります。こちらも分からない時は聞くようにしていますが、よろしくをお願いします。

△通学路の帰り道に塾があるから帰宅せずそのまま塾へ行く子もいます。テスト期間だけでも中学から塾が近い為、家に帰らず、そのまま塾へ行ける許可がほしいです。

△受験前の放課後に補修授業とまでは行かなくても、下校時間まで学校で勉強できる環境を作っていたけると嬉しいです。自宅では子どもが集中して学習できる環境が作れず、学校で勉強できる環境をご提供いただけると幸いです。

△子どもは3年なのですが、コロナの前に行っていた、進路学習の一環としての職業体験ができたらよかったなと思います

△3年生を送る会を、みてみたいのでCATVなどご検討いただけると嬉しいです。

△部活の地域移行について、分かりづらいと感じます。顧問の先生が熱心だと活動も多いような気がして、少し不公平さも感じます。地域移行によって、そのような事が解消されれば良いなと思います。

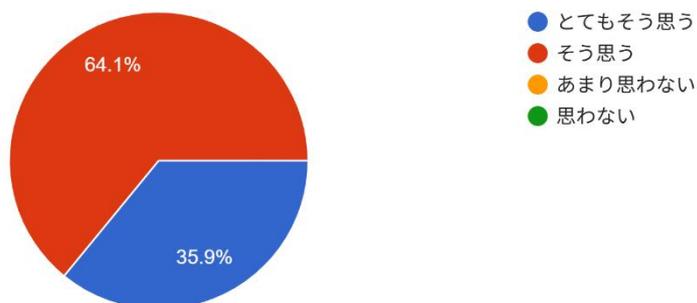
△おたよりが手元に届くのが遅い時がある。毎月の予定表が1週間も過ぎてから手元に届くことがあって困った。早く配布を早くをお願いします。

*保護者の記述については、抜粋となっています。また、保護者からのご意見に対して、対応済みのものもあることを、ご承知おき下さい。

<教職員回答>

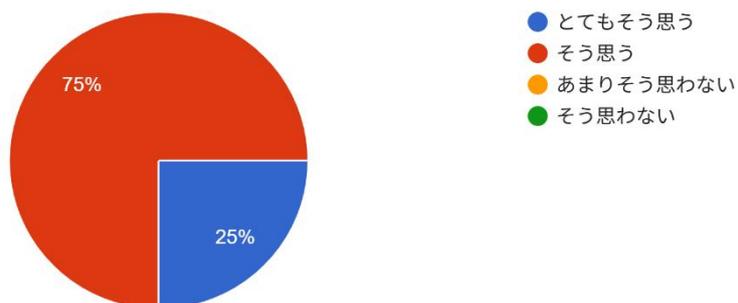
1. 生徒は、充実した学校生活を送っている。

39 件の回答



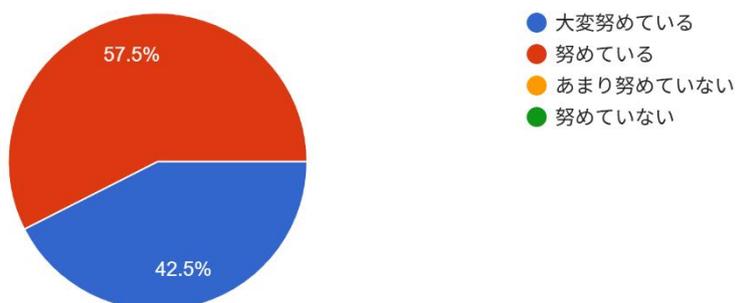
2. 校訓、学校教育目標などを実現しようと努力している。

40 件の回答



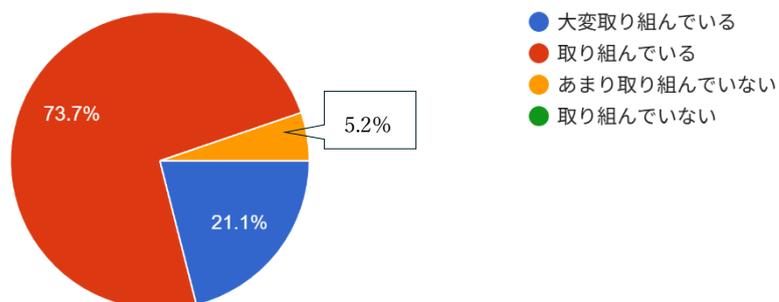
3. 教材研究・生徒の実態の把握、指導方法の工...改善などを通して「わかる授業」に努めている。

40 件の回答



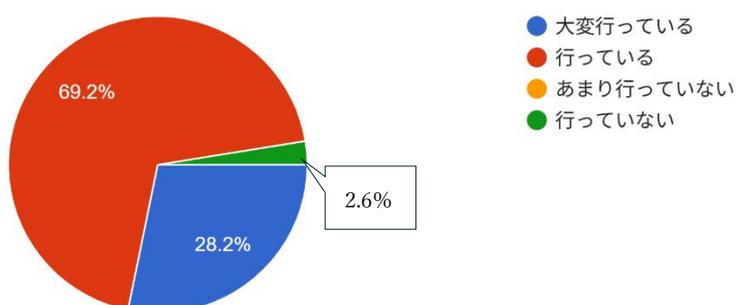
4. 学習の遅れがちな生徒に対して、具体的な方策をもって、指導に取り組んでいる。

38 件の回答



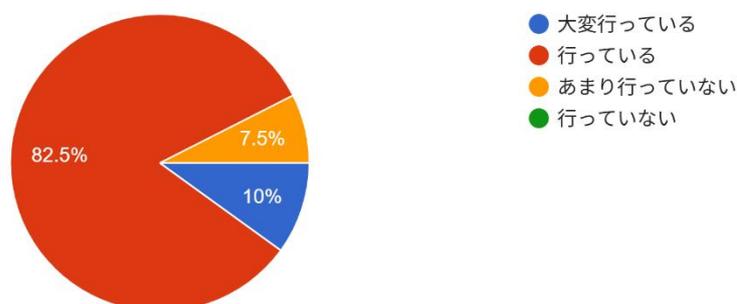
5. 生徒の意欲や努力を適切・公平に評価し、指...うに、評価を生かした指導の改善を行っている。

39 件の回答



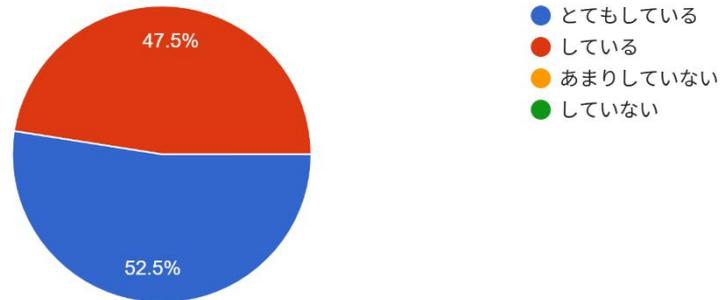
6. 家庭学習の充実を図るための指導を行っている。

40 件の回答



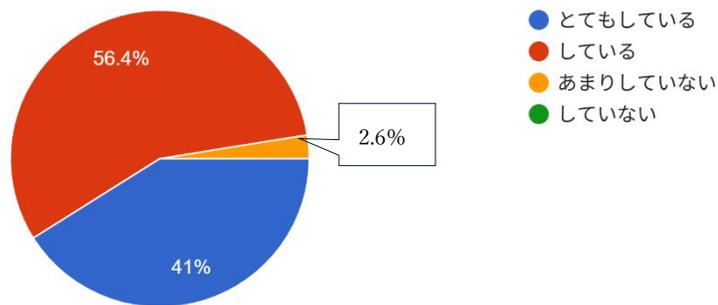
7. いじめのない学級づくり・集団づくりに取り組んでいる。

40 件の回答



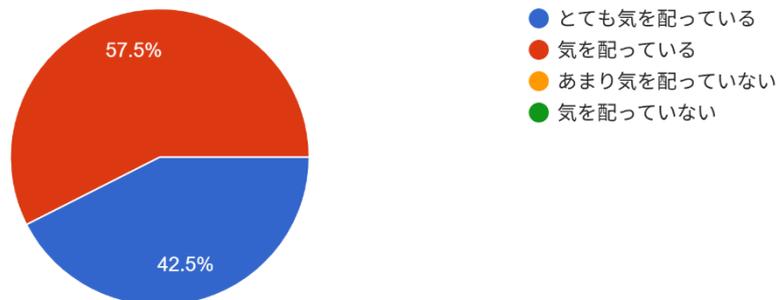
8. 生徒や保護者の意見に対し、カウンセリングマインドをもとに指導支援を行っている。

39 件の回答

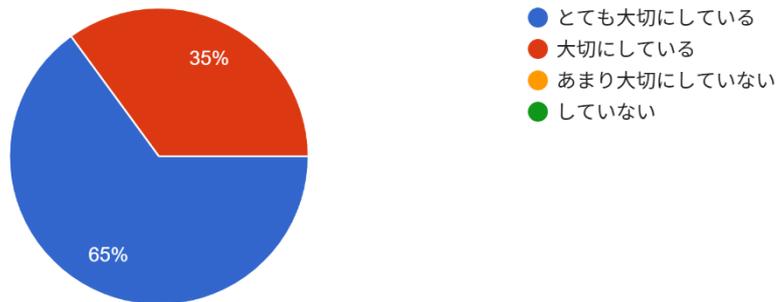


9. 孤立している生徒がないように、友達関係に気を配っている。

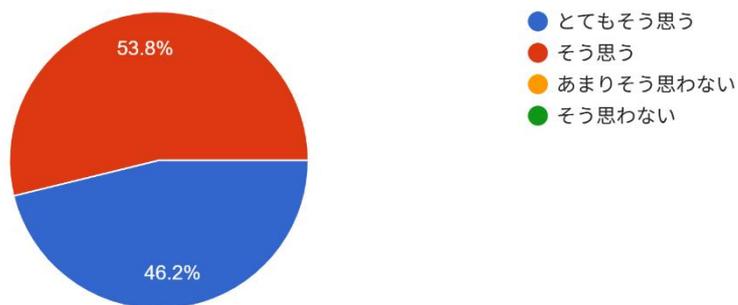
40 件の回答



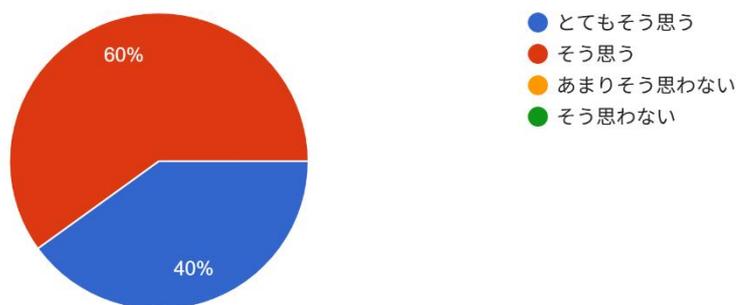
10. 思いやり、生命の大切さ、そして社会のルールなど、心の教育を大切にしている。
40 件の回答



11. 学園祭などの諸行事において、生徒は自分の力を発揮している。
39 件の回答

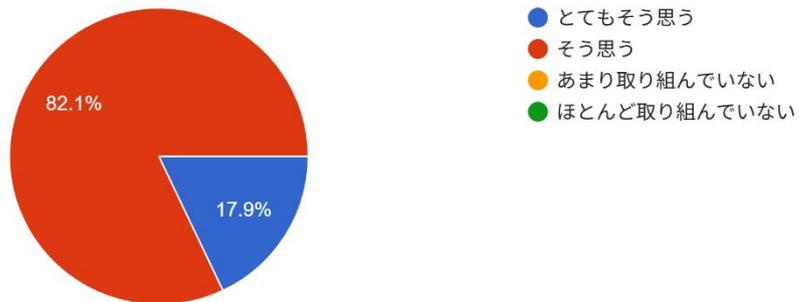


12. 生徒は、部活動に意欲的に取り組んでいる。
40 件の回答



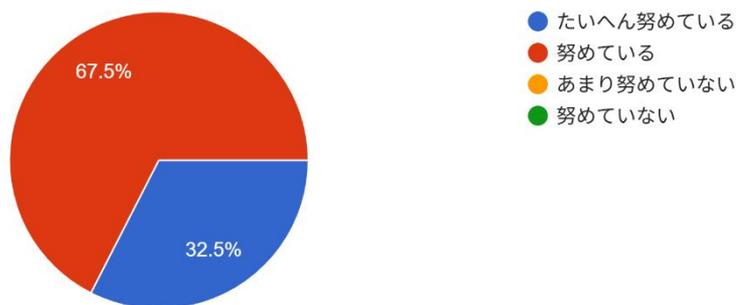
13. 生徒は、学級の係や委員会活動に積極的に取り組んでいる。

39 件の回答



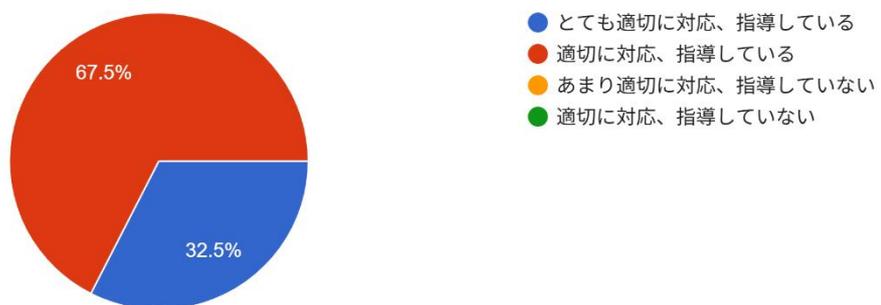
14. 生徒たちの生活や学習にふさわしい教育環境づくりに努めている。

40 件の回答

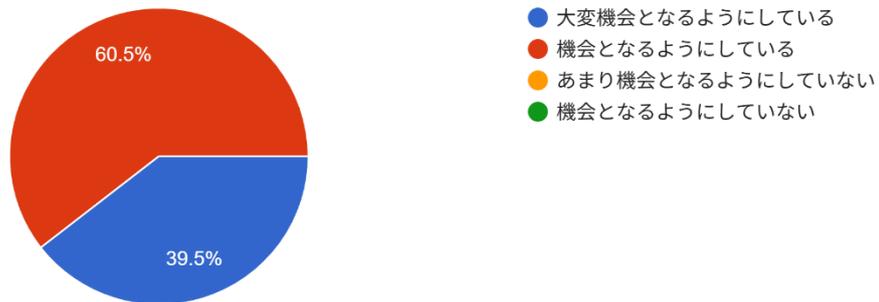


15. 生徒たちの健康増進や交通安全等に適切に対応、指導している。

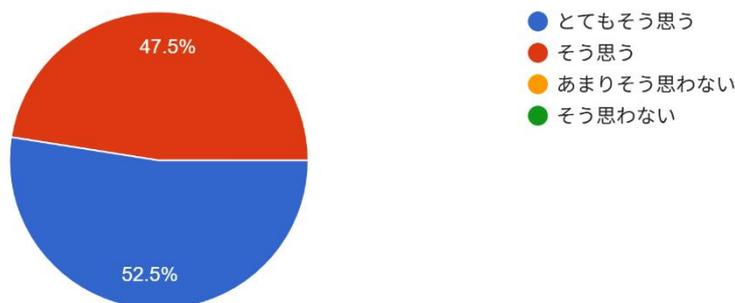
40 件の回答



16. 家庭訪問・学年懇談会・三者懇談は、保護者と教職員の情報交換の機会となるようにしている。
38件の回答



17. 授業参観の実施、学校だより学年だよりの発...、開かれた学校づくりの取り組みが進んでいる。
40件の回答



<自由記述>

- 管理職の先生方を中心に、多忙化解消や、時代に即したやり方等を考慮して、働きやすい環境を作っていたり、常に教職員のことを考えた教育課程を考えてくださり、大変ありがたい。
- 現在、チーム山梨北中のために、教職員一人ひとりが持ち味を發揮し、各々ができることを探し、お互いに助け合う中で、生徒に寄り添い、生徒を支援できている。そういう想いを皆で共有し、さらに高め、より良い山梨北中を目指していくことが大切であるとする。
- 教員集団が明るく元気があふれていて魅力的です。それが生徒に伝わっていると思います。
- 当たり前と言われていることを継続して行うことは存外むずかしいが、山梨北中学校の生徒はそれができている生徒も多い。時々改めて感心する。
- △打合せ（学年も含める）をさらに簡略化し、担任はもっと早く教室へいけるようにすべきと思う。